

手順 1

取出し

リュックサックからくにもる デモキットを取出します。



ルーフトップアンテナ 2本



くにもるデモキット
WLKITA

MG CO., LTD.
www.mgco.jp
NM-9185-A 改2

クイックマニュアル

手順 2

取付け

ルーフトップアンテナを親機・子機に取付けます。

ルーフトップアンテナケーブルのコネクタを本体に接続します。



コネクタ



手順 3

電源オン

親機ユニット・子機ユニットの電源スイッチをオンします。



バッテリー駆動でコンセントを探す必要がないから、楽ちんですね。



手順 4

出力信号ホールドスイッチの設定

LED の点灯状態を確認します。



[○] 側を押して、信号発生器の前面にある [PL2] のLED点灯を確認します。

手順 5

動作確認

電源を入れて 30 秒後に、子機と親機のバーグラフ表示が同期したら完了です。



バーグラフ
小形指示計1



バーグラフ
小形指示計2

無線は応答が遅いと思っていたけど、こんなに早いとは思わなかったわ。



さあ、これで目的の場所へ移動して通信テスト行いましょう！
もしも途中で通信（電波）が切れても自動的に再接続しますので、安心してテストを行うことができますよ。

お手持ちのタブレットやスマホでのデータやトレンドグラフの見方は **2ページ** をご覧ください。



タブレット、スマホでトレンドデータを見る方法

1 タブレット、スマホでデモキットのネットワークを選択します。
SSID : 920920920
パスワード : なし

2 タブレット、スマホで右記の QR コードを読み込んでアクセスします。
 手入力する場合はブラウザで http://192.168.0.2/trend_p1.html を入力します。



3 下記の Web ページが表示されたら完了です。



Webページを自動更新させたい場合



Web ページアクセス後は、画面左上の [P1] 部分をクリックして、「1」を入力してください。
 「0」から「1」へ変更することで、トレンド画面の更新周期が1秒に変わります。

4 波形を変化させてみましょう。
詳しくは下記 「信号発生器」をご覧ください。

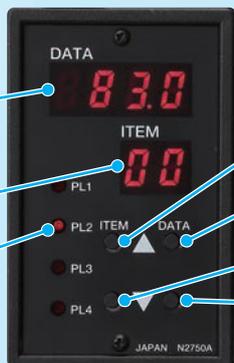
信号発生器 20種類の波形を自由に選択できます。

マニュアルセッタ 形式:MXMS-X

DATA : 現在の出力値
 (0.0%~100%)

ITEM : 選択された波形番号

PL2 LED : 出力値をホールドしている間は消灯します。通常時は点灯します。



ITEM ▲ : 波形を選択します。

DATA ▲ : 周期を短くします。

ITEM ▼ : 波形を選択します。

DATA ▼ : 周期を長くします。

[DATA] の [▼] を長押しすると波形の周期が長くなるんだね。



波形詳細

00 : 正弦波 (サイン波)



01 : 方形波



02 : ランダム矩形波 1



03 : のこぎり波 (右上がり)



04 : のこぎり波 (対称)



05 : のこぎり波 (右下がり)



06 : ランダム矩形波 2



07 : 固定矩形波 1



08 : 固定矩形波 2



09 : 固定矩形波 3



10 : 固定矩形波 4



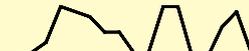
11 : 固定のこぎり波 1



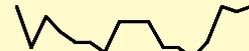
12 : 固定のこぎり波 2



13 : 固定のこぎり波 3



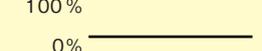
14 : 固定のこぎり波 4



15 : 0% 固定



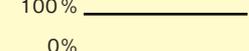
16 : 25% 固定



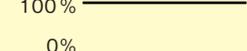
17 : 50% 固定



18 : 75% 固定



19 : 100% 固定



例えば [ITEM] の [▼] を押して ITEM 番号を「17」にすると、出力が 50% に固定されるんだね。

